

# ご使用上の注意 & お手入れについて 快適なフロアーライフのために床材を長持ちさせるためのポイント

## 木質製品の特性について《ご理解いただきたいこと》

### ●床鳴り

床鳴りは、フロアーの継ぎ目部分が擦れて音が発生していることが考えられます。これは、木の特性としての調湿効果が働き伸び縮みが生じることで、ある程度はやむを得ない現象です。商品の性能、使用上特に問題ありません。その他、水をこぼして長時間放置した場合や、水気の多いお手入れをされた場合などでも起こりますので、正しいお手入れ方法をおすすめします。また、ワックスや表面コート材の塗布、下地条件などでも発生する場合があります。

### ●虫食い

一般にフロアーは高温高圧工程を経て製造されるため、製造段階での虫害はありませんが、製品の流通段階や施工後に何らかの理由で虫害が侵入することがあります。万一発見した場合、専用の薬剤を注入するなど、早期対策が必要です。処理専門業者等にご相談ください。

### ●色のバラツキ

自然素材である天然木の化粧単板や無垢材は、同じ樹種でも一本一本人性があります。木目・色調が異なるものはもちろん、成長過程で生じる節や入り皮なども天然木ならではの個性です。天然素材ならではの個性としてご理解のうえ、その味わい深い魅力をお楽しみください。

### ●ワックス

弊社フロアーリングに関しては全商品セラミック入りの塗装となっている為、ワックス掛けはいたがなくなるとも使用できます。

### 日常のお手入れはゴミやホコリを取り除き、乾いた雑巾やモップで乾拭きを。

- ◎水漏れ箇所に化学雑巾は絶対使用しないでください。万一使用した場合、床表面が白っぽくなるおそれがあります。また、化学雑巾を床の上に長時間放置しておくとも変色のおそれがあります。
- ◎ひどい汚れは、ゴミや埃を取り除いたあと、雑巾を水または床用洗剤等で濡らし硬く絞ってから拭き取ってください。濡れた雑巾で水拭きは絶対しないでください。水拭き等をした場合、床表面の割れや剥離等が生じるおそれがありますのでご注意ください。

### ワックスを使用する場合は、次の点に留意しましょう。

- ①室温が低温の時や、雨天で湿度が高い時は使用しないでください。床表面が白っぽくなる場合があります。
- ②ゴミや埃を取り除いたあと、雑巾を水で濡らして堅く絞ってから拭き取ってください。乾燥が不十分ですと、床表面が白っぽくなる場合があります。
- ③ワックスをモップ等に含ませ、やや強めに絞った床面の目地に溜まらないよう木目方向に沿ってムラなく塗布してください。
- ④十分に乾燥するまで歩かないでください。
- ⑤使用するワックスは樹脂ワックスとし、ロウタイプ（水性、乳化性、油性）ワックスは使用しないでください。ワックスの種類によっては滑りやすい、密着不良、汚れの恐れがありますのでご注意ください。また、ワックスの販売店やメンテナンス専門業者と、よくご相談の上ご使用願います。
- ⑥スポーツフロアーへのワックス掛けは行わないで下さい。

## 傷つき・凹み・単板はがれ防止

テーブル、椅子など	テーブルや椅子などを引きずると、床表面に傷がつかます。家具の足元にフェルトやゴムキャップ等をつけて、保護しましょう。フェルトはスノーバーやホームセンターなどで手軽な粘着付きのものが販売されています。
重量物	ピアノや冷蔵庫、移動式バスケットゴール、移動式観覧席等の重量物には、インシュレーター（緩衝材）や敷板を脚部の下に敷いて重量を分散させてください。部分的に荷重がかかると、その部分に凹みが出ることがあります。また移動させる場合は必ず持ち上げた状態で行うか敷板等を敷いてください。
重量配膳車	福祉施設等で冷温式の重量配膳車を使用される場合、耐荷重式の床材を指定してください。（根太張りタイプを使用してください。直張りタイプの場合は、営業担当へお問い合わせ下さい。） ◎一般用床材の場合、割れや剥離（合板タイプの場合）等の破損が発生する場合がありますので、一般用床材には使用しないでください。 ◎重量配膳車のキャスター及び車輪はエア一式かゴム式とし硬化樹脂製は使用しないでください。やむを得ず使用する場合は床表面の凹み・キズ等の悪影響が予想されます。本体荷重が分散し、集中荷重とならない構造としてください。（集中荷重になる際は、緩衝材・敷板等を使用してください。）
マット・カーベットの固定	玄関マットやカーベットのズレ防止に粘着テープ（ガムテープや両面テープ等）の使用は避けてください。はがす時に床表面を傷める原因になります。
フロアーコーティング剤（厚塗り表面コート剤）	厚塗り表面コート剤を使用しないでください。下地スラブの湿気が逃げず、床鳴り・突き上げなどの原因になることがあります。
養生テープ	養生テープは床専用テープをご使用してください。ご使用後はゆっくりと剥がしてください。急激に剥がすと床材表面が損傷する場合がございます。ガムテープ・両面テープなどの強粘着性のあるテープはご使用にならないでください。長期間貼った状態にしておくと、粘着性が増しますので、ご注意ください。

## シミ・変色・ヒビ割れの防止

直射日光	窓際など直射日光が長時間当たりやすい場所は、変色やヒビ割れが発生しやすくなります。カーテンやブラインドで遮光を心がけましょう。また、観葉植物は時々置く場所を移動させてください。長時間同じ場所に置いた場合、日焼けなどにより変色が発生する場合があります。
暖房器具	床材は温度変化によって伸縮します。長時間熱にさらすと乾燥のしすぎによるヒビ割れや変形が起きます。温風ヒーター等の熱風が直接当たらないようにカーペットやマットを敷いてください。電気カーペットをご使用の際には、床との間にカーペットを敷いて熱をやらせてください。
高温のもの、薬品など	火のついたタバコを落としたり、熱いアイロンややかん等を直接床に置くと、床表面の損傷の原因になります。タバコのヤニはアルコールを染みこませた布で拭き取ってください。また、各種薬品やアルカリ性洗剤、灯油などをこぼすと変色するおそれがありますので、すぐに拭き取ってください。
水回り	木質床材は性質上湿気を嫌います。床材は濡れたままにしておくと、ヒビ割れ、変色、シミ、剥離（合板タイプの場合）の原因となります。濡れた場合はすぐに拭き取ってください。 ◎台所・洗面所等の水回り／マットを敷き、保護しましょう。 ◎観葉植物等の鉢／水受け用の皿を敷きましょう。 ◎窓際・縁側／雨の吹き込みに注意しましょう。 ◎トイレ／床にこぼれた小水中のアンモニアはシミの原因となります。すぐに拭き取りましょう。
ベット	ベットなどの排泄物をそのまま放置すると変色する原因になります。排泄物で汚れた場合は、速やかに固く絞ったぞうきんで拭き取ってください。また、ベットの爪で床表面に傷がつくことがありますので注意しましょう。

## プロテクション・ネオご使用上の注意

### ① 床用ワックスは使用しないでください。

除菌・消毒する場所	除菌・消毒（お手入れ方法参照）に使用する液体により、ワックスが溶け白濁するおそれがあります。
体育館・武道場・ジム棟	ワックスをかけることにより、スベリ過ぎやその逆の現象が発生し、怪我をするおそれがあります。

### ② 暖房器具や高温のものについて

暖房器具などについて	プロテクション・ネオはフローリングの表面に「PRC処理」を施しているため、床表面温度が60℃以上にならないようにしてください。特にジェットヒーター等の熱風が直接床表面に当たらないようにカーペットやマットを敷いてください。
高温のもの	火のついたタバコを落としたり、熱いアイロンややかん等を直接床に置くと、床表面の損傷の原因になります。タバコのヤニはアルコールを染みこませた布で拭き取ってください。

## お手入れ方法

### ① 保育施設や介護施設における清掃・除菌消毒方法について

通常時の清掃	掃除機でゴミや埃を吸い取ったあと、水で濡らして固く絞った布などで拭いてください。
嘔吐・下痢の発生時の消毒方法	手袋を着用のうえ、汚物を取り除き、 <b>次亜塩素酸ナトリウム (0.02%)</b> で拭拭消毒し10分間放置してください。その後、水で濡らして固く絞った雑巾やモップで拭き取ってください。

### ② 一般的な室内の清掃について

日常の清掃	掃除機でゴミや埃を吸い取ったあと、布やモップでカラ拭きしてください。
汚れがひどくなった時	カラ拭きで汚れが落ちなかった場合は、水で濡らして固く絞った布や、モップなどで取り除いてください。それでも汚れが落ちない場合は床用クリーナーでスプレーした後、水で濡らして固く絞った布やモップで拭き取ってください。